

◆2022年10月の新刊

日本キリスト教団出版局

クリスチャンの精神科医が語る「老いは恵み」

老いと祝福

い し ま る ま さ ひ こ

石丸昌彦 著

1957年生。愛媛県出身。1979年東京大学法学部卒業。
1986年東京医科歯科大学医学部卒業。1994～97年米国ミ
ズーリ州ワシントン大学精神科留学。1999年東京医科歯科大
学難治疾患研究所講師。2000年～桜美林大学助教授、教授を経て、2008年～放送大学教授。専攻は精神医学。
キリスト教メンタルケアセンター（CMCC）副理事長。日本基督教団柿ノ木坂教会員。

祝福とは何か。クリスチャンの精神科医がその意味を聖書からひもときつつ、老いの恵みを考える。超高齢社会を直視し死生観にも踏み込みながら、健やかな日々を過ごすコツを伝授。「時を経ても古びないもの、時を超えて新しいもの」をさまざまな側面から提言する。

四六判・並製・216頁・定価2,420円（本体2,200円＋税）

ISBN978-4-8184-1114-2 C0036



2022年
10月25日
刊行予定

目次

序章 祝福とは何か 祝福を考える／苦難の意味

第1章 今日の老いの現実

超高齢社会の到来／健康寿命の延伸／病魔と戦災——軀からの解放／祝福を曇らすもの／速すぎる技術の進歩／速すぎた社会の変化／長谷川和夫先生のこと／認知症と信仰／周囲の心得——人として向き合うこと／社会のわきまえ——皆が生きやすいように

第2章 「老い」を見直す世界の流れ

「老い」の二面／流動性知能と結晶性知能／エイジングという発想／離脱から超越まで／エリクソンと統合の季節／映画『野いちご』／ライフサイクルと四季のたとえ／年寄りには簡単なこと／「死生観」の残念な歴史／高齢期と死生観

第3章 老いの日々を健やかに

高齢期のメンタルヘルス／高齢期の妄想／加齢の効用／70年目の気づき／睡眠の心得／一日のリズム／自殺とその対策／笑いの効用／聖書とユーモア／高齢期の読書と執筆

第4章 聖書の教えと親の背中

聖書の中の長寿と老い／年長者の思いとレハブアムの蹉跌／高齢者の役割／曾祖父の決断／岳父のこと、母のこと／存命の喜び／孤独——死に至る病／孤独を克服させる力／時を経ても古びないもの、時を超えて新しいもの／老いゆこう、我とともに